

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	重症患者における初回離床時の脳酸素化動態と予後との関連：後向き観察研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	対象者：2020年6月1日～2024年3月31日の期間に、魚沼基幹病院ICUに入室し、以前の研究（UMIN000040749）でNIRS（近赤外分光法）を用いた脳酸素化指標が測定された患者さん 過去の研究課題名：重症患者における初回離床時の脳酸素化反応とバイタルサインとの関連性 研究責任者：今井 遼太（魚沼基幹病院 リハビリテーション技術科）
③概要	本研究は、重症患者に対して実施された初回離床時の局所脳酸素飽和度（rSO_2）およびヘモグロビン濃度変化の測定データと診療録情報を用い、これらの脳酸素化指標が院内死亡や退院後の身体機能・再入院の有無などの予後とどのように関連するかを明らかにすることを目的とした後向き観察研究です。過去に実施された研究（UMIN000040749）で収集されたデータをもとに、匿名化された状態で解析を行います。介入はなく、患者さんに新たな負担はありません。
④申請番号	E2025001401
⑤研究の目的・意義	初回離床時の脳酸素化指標（rSO_2やヘモグロビン濃度変化）が、重症な患者さんの院内死亡や身体機能、再入院等の予後に関連するかを明らかにし、将来的な安全かつ効果的な離床戦略やリハビリテーション方針の構築に貢献することを目的としています。
⑥研究期間	倫理審査承認日 ～ 2030年7月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	研究目的に限り使用し、個人が特定されない形に匿名化したうえで、魚沼基幹病院内にて解析を実施します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。また、他の機関への情報提供は行いません。
⑧利用または提供する情報の項目	局所脳酸素飽和度（rSO_2）およびヘモグロビン濃度の測定データ、診療録情報（年齢、性別、診断名、重症度スコア、治療内容、リハビリ実施状況、予後など）、うおぬま・米ネット登録情報（再入院、心血管イベント等）
⑨利用の範囲	魚沼基幹病院 リハビリテーション技術科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	魚沼基幹病院 リハビリテーション技術科 リハビリテーション技術係長 今井 遼太
⑪お問い合わせ先	魚沼基幹病院 リハビリテーション技術科 今井遼太 電話：025-777-3200 Email：rehabilitation@ncmi.or.jp